



# 検査ニュース

No.165

ご挨拶

平素より佐賀県医師会成人病予防センター業務にご協力及びご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
今回は、「便ヘモグロビン定性検査に精密値報告開始」と「検査内容変更」について、ご案内します。

佐賀県医師会成人病予防センター  
担当理事 志田 正典

## ●便ヘモグロビン定性ご依頼分に、精密値報告を開始します。

(平成 27 年 10 月 1 日より)

便潜血検査は、下部消化管出血の有無を知るための重要な検査です。

近年、食事の欧米化により増加している大腸癌の初期症状の一つには出血がみられるため、免疫学的便潜血検査は大腸がんの早期発見のための簡便かつ非侵襲的なスクリーニング検査です。

定性検査の報告形式は陰性・陽性のため、便ヘモグロビン含有量のカットオフ値 (100ng/ml) との差が明確ではありませんでしたが、今回、全ての定性ご依頼分に精密値を報告するサービスを開始いたします。先生方におかれましては、便ヘモグロビン検査精密値を診療にお役立て下さい。

案内書掲載頁	項目コード No	検査項目	実施料判断料	報告形式	基準値単位	備考
99	5044	ヘモグロビン定性	37点 ※1	陰性・陽性	陰性	【5088】ヘモグロビン(精密)ご依頼分にも定性報告を併記いたします。
	5088	ヘモグロビン(精密)	(41点) ※1	〇〇〇 ng/ml	100未満 ng/ml	

※1 尿・糞便等検査判断料

## ●アミノインデックス検査の内容が変更になります。

(平成 27 年 10 月 1 日ご依頼分より)

アミノインデックスとは、健常者を対象とした「がんリスクのスクリーニング検査」です。

健常者における血液中のアミノ酸濃度は、一定に保たれるように体内でコントロールされていますが、がん患者では各種アミノ酸濃度のバランスが変化することが報告されています。

A I C S (AminoIndex® Cancer Screening) は、血液中のアミノ酸濃度を測定し、アミノ酸濃度のバランスの違いを統計的に解析することで、「がん」に罹患しているリスクを予測する特殊検査です。

今回、新たな解析対象に早期発見が課題とされる「**膵臓がん**」を加え、より広いがん腫を一度に検査できるようになりました。

男性 AICS (4種)	⇒	男性 AICS (5種)	胃がん、肺がん、大腸がん、 <b>膵臓がん</b> 、前立腺がん
女性 AICS (5種) AICS (2種)		女性 AICS (6種)	胃がん、肺がん、大腸がん、 <b>膵臓がん</b> 、乳がん 子宮がん(子宮頸がん・子宮体がん)・卵巣がん

※子宮がん(子宮頸がん・子宮体がん)・卵巣がんは、いずれかのがんであるリスクについて予測することができますが、それぞれのがんのリスクについては分かりません。

### アレルギーのリーフレットをお届けいたします

「治療の第一歩は原因を知ることです。」検査ニュースと同時に配布しておりますのでご利用ください。

